

科目名	コンピュータ利用技術Ⅰ(A)	科目分類	■専門科目群(第1グループ) □総合科目群(第2グループ)	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Computer Use Skills Ⅰ	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	たきもり たけし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	瀧 森 威	修得単位	2単位	
授業のテーマ	情報倫理や情報セキュリティの知識の習得と高度なWordの利用			
授業概要	コンピュータ入門で学習した内容をもとに、実社会で対応する情報の知識と実践的な能力を身につけます。前半は、コンピュータやネットワークに関わる情報倫理や情報セキュリティについて、ビデオ等事例を見ながら解説し、後半は前期に学習したWordの応用的な使い方について学習する。			
到達目標	情報倫理や情報セキュリティの知識を理解できる。高度なWordの利用ができる。			
授業時間外の学習	コンピュータ入門で学習した内容がもとになりますので、不得手な分野は確実にしておくこと。			
履修条件	コンピュータ入門の単位を修得していることが望ましい。 学籍番号180001～180069の学生及び過年度生向け講義となります。			
授業計画				
第1回	情報と情報社会の特徴、情報の受信・発信と個人の責任			
第2回	個人情報と知的財産			
第3回	電子メールやWebページによる情報の受信・発信、ネット上のコミュニケーション			
第4回	社会生活における情報、身近な生活における情報			
第5回	ネット社会におけるトラブルと犯罪			
第6回	今日のセキュリティリスク、危険の認識と対策			
第7回	情報セキュリティとは、外部のリスク要因			
第8回	内部のリスク要因、情報リテラシーと情報倫理			
第9回	マルウェア、共通の対策			
第10回	標的型攻撃と誘導型攻撃への対策、フィッシング詐欺への対策、ワンクリック請求への対策、スマートフォンの脅威と対策、無線LANに潜む脅威と対策			
第11回	組織の一員としての情報セキュリティ対策			
第12回	Wordの高度な利用法①(ビジネス文書の作成)			
第13回	Wordの高度な利用法②(表現力のある文書の作成)			
第14回	Wordの高度な利用法③(長文のレポート編集、差込印刷処理)			
第15回	Wordの高度な利用法④(数式ツール、差込印刷)			
第16回	試験			
テキスト	インターネット社会を生きるための情報倫理 実教出版(本体400円 税別) IT時代の危機管理入門 情報セキュリティ読本 四訂版 実教出版(本体500円 税別)			
参考文献・資料	コンピュータ入門で使用したテキスト 情報リテラシー 2013対応 FOM出版(本体2,000円 税別) プリント			
成績評価の方法	試験60%、授業中に与える実習及び演習課題等40%、総合的に判断します。出席回数が規定に満たない場合は試験をうけることができません。出席確認時不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。			
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			

オフィスアワー	毎週金曜日 10:40~12:10、13:00~14:30 これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
学生への メッセージ	現在は、情報セキュリティの知識はとても重要な内容となっているので、しっかりと身に付けてください。また、課題は必ず提出することが前提となります。自分の力で努力して提出してください。

科目名	コンピュータ利用技術 I (B)	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Computer Use Skills I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	たきもり たけし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	瀧 森 威	修得単位	2単位
授業のテーマ	情報倫理や情報セキュリティの知識の習得と高度な Word の利用		
授業概要	コンピュータ入門で学習した内容をもとに、実社会で対応する情報の知識と実践的な能力を身につけます。前半は、コンピュータやネットワークに関わる情報倫理や情報セキュリティについて、ビデオ等事例を見ながら解説し、後半は前期に学習した Word の応用的な使い方について学習する。		
到達目標	情報倫理や情報セキュリティの知識を理解できる。高度な Word の利用ができる。		
授業時間外の学習	コンピュータ入門で学習した内容がもとになりますので、不得手な分野は確実にしておくこと。		
履修条件	コンピュータ入門の単位を修得していることが望ましい。 学籍番号 180070 以降の学生及び過年度生向け講義となります。		
授業計画			
第1回	情報と情報社会の特徴、情報の受信・発信と個人の責任		
第2回	個人情報と知的財産		
第3回	電子メールやWebページによる情報の受信・発信、ネット上のコミュニケーション		
第4回	社会生活における情報、身近な生活における情報		
第5回	ネット社会におけるトラブルと犯罪		
第6回	今日のセキュリティリスク、危険の認識と対策		
第7回	情報セキュリティとは、外部のリスク要因		
第8回	内部のリスク要因、情報リテラシーと情報倫理		
第9回	マルウェア、共通の対策		
第10回	標的型攻撃と誘導型攻撃への対策、フィッシング詐欺への対策、ワンクリック請求への対策、スマートフォンの脅威と対策、無線LANに潜む脅威と対策		
第11回	組織の一員としての情報セキュリティ対策		
第12回	Word の高度な利用法① (ビジネス文書の作成)		
第13回	Word の高度な利用法② (表現力のある文書の作成)		
第14回	Word の高度な利用法③ (長文のレポート編集、差込印刷処理)		
第15回	Word の高度な利用法④ (数式ツール、差込印刷)		
第16回	試験		
テキスト	インターネット社会を生きるための情報倫理 実教出版 (本体 400 円 税別) IT 時代の危機管理入門 情報セキュリティ読本 四訂版 実教出版 (本体 500 円 税別)		
参考文献・資料	コンピュータ入門で使用したテキスト 情報リテラシー 2013 対応 FOM出版 (本体 2,000 円 税別) プリント		
成績評価の方法	試験 60%、授業中に与える実習及び演習課題等 40%、総合的に判断します。出席回数が規定に満たない場合は試験をうけることができません。出席確認時不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。		
オフィスアワー	毎週金曜日 10:40~12:10、13:00~14:30 これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。		
学生へのメッセージ	現在は、情報セキュリティの知識はとても重要な内容となっているので、しっかりと身に付けてください。また、課題は必ず提出することが前提となります。自分の力で努力して提出してください。		